

釜戸小だより



大変良い滑り出しができました

4月7日に警報の発令が心配された中、予定通り始業式、入学式を行うことができました。そして、今日までの約1か月、子供たちは本当によく頑張りました。その具体的な様子が担任から発出される学級通信に表れています。今日まで、一人一人の子供たちにはよく頑張る姿が見られ、学校として良い滑り出しができたと言っています。

春は、誰もが「3月までの自分とは違う自分になろう。」「〇〇ができるようにしたい!」という前向きな気持ちで、「なりたい自分」をイメージして生活します。家庭では朝起きるのが苦手だったのに、自分で起きてきたり、朝ごはんも残しがちだったのに、ペロりとたいらげたりする姿があったのではないのでしょうか。また、学校へ行く準備をするに時間がかかりがちだったのに、自分から準備を整えて「いってきます!」…こんな姿があったのではないのでしょうか。それは、きっと大人の言葉でいうところの「心機一転」だと思います。

学校生活においても、授業中に手を挙げて堂々発表をしたり、係の仕事を一生懸命にやったりして、今までとはちがう姿を見せる子がいます。また、登校中に地域の見守りの方に元気よく挨拶をして「〇〇さんは今年はりきってるなあ」と感心させる子もいます。本当に一人一人の子が精一杯成長しようとしているのが伝わります。

ただ、同じ行動であっても、それがその子にとって高いハードルになるのか、継続できる低いハードルなのかには違いがあります。高すぎるハードルだと長続きさせることは難しいでしょう。よほどの支えがないと途中で息切れをしてしまいます。

学校では、子供一人一人の頑張る姿を把握し、継続させられるように言葉がけをしたり、おうちへの連絡をしたりしていきます。学校と家庭が一緒になって子供の頑張りを喜んだり、失敗を共有したりしていただき、成長を見守りたいと思います。

子供は家庭・地域・学校の中で育ちます

釜戸小学校はこれまで家庭・地域・学校が一体となりチームとして子供の育成に努めてきました。その表れとして登校の見守りで安全を守っていただいたり、コミスクで子供たちが楽しく学ぶ手助けをしていただいたりしています。今年は、保護者の皆様も「チーム釜戸」の一員として、より意識していただき、子供の成長を支えていただきたいと思います。

学校と

家庭、家庭と地域、地域と学校がうまくつながり、その中央に子供をおいて「よりよく生きぬく力」を育ててい



よう。時には腑に落ちないこともあるでしょう。しかし、家庭・地域・学校の三者は「子供の成長」が同じ目的であるはずです。同じ方向を向いて、それぞれが子供のためにできることを考え、取り組んでいきます。そんな中で、もしかすると些細なズレがあるかもしれません。そのようなときにはチームの一員としてコミュニケーションが大切です。同じ目的のはずなのに理解できないことは、不信感につながる前に連絡を取り合い、コミュニケーションを図りながらお互いを理解していきましょう。そのことが必ず子供たちの成長につながります。

さらに、今年も子供たちの学習に地域の方のお力をお借りし、「よりよく生きぬく力」を育む計画をしています。また、子供には情報発信力を身に付けさせる意味で「おうちの方にあったこととお話ししよう」と指導します。いつ、どのようなことがあったのか。どなたにお世話になったのか。どんな感想をもったのか。学年の発達段階に応じて担任が指導し、子供たちが家で情報発信します。どうぞ、「チーム釜戸」の一員として、子供たちの話に耳を傾けていただき、家庭(保護者)としての思いをお伝えください。そのやり取りによって、コミュニケーション力を高めるとともに、地域の方へ感謝の気持ちを表現できる子にしたいと願います。どうか、「チーム釜戸」として一緒に子供たちの成長を育てていきましょう。